



かしわざき

KASHIWAZAKI

平成 21 年 10 月 20 日 発行

No. 138

発行
柏崎市議会
印刷
株式会社

市議会だより

ホームページアドレスは <http://www.city.kashiwazaki.niigata.jp>



水球（少年男子）対三重県
柏崎アクアパーク



卓球（少年女子）
柏崎市総合体育館



ハンドボール（少年男子）
上越市柿崎総合体育館



水球（少年男子）
柏崎アクアパーク



卓球（成年女子）
柏崎市総合体育館



ハンドボール（成年男子）
柏崎市総合体育館

8月臨時会 柏崎市の水道事業に刈羽村の水道事業を統合することに関する基本協定の締結を全会一致で可決

9月定例会 地域活性化・経済危機対策、中越沖地震関連の道路・橋りょう・河川の災害復旧費などの補正予算13億602万3千円を可決

主な内容

- 9月定例会の主な議案 …… 2～3P
(主な議案・議員発案)
- 一般質問 …… 4～10P
- 議決一覧 …… 10～12P
- 議会日誌 …… 12P
- 議員賛否一覧 …… 13P
- 全員協議会・研修会 …… 14P
- 議員寄稿 …… 15P
- 委員会審査・編集後記 …… 16P

市議会九月定例会は、九月二日から十八日までの十七日間の会期で行われました。審議した案件は、市長提出三十三件、議員提出四件、請願一件の計三十八件で、このうち二十九件を原案可決（認定・同意、一件を不採択、八件を継続審査としました。可決した主な案件は、平成二十一年度一般会計補正予算へき地診療所設置条例の一部を改正する条例、基幹水利施設管理条例、決算の認定（平成二十年度ガス・水道・工業用水道・公共下水道・農業集落排水事業会計）などです。

九月定例会



一般会計補正予算を
可決

九月定例会に平成二十一年度一般会計補正予算(第六号)が提出され、議会は全会一致でこれを可決しました。

この補正予算は、国の補正予算に基づいて、国・県から補助金等の内示を受け、地域グリーンニューデール基金事業を初めとした新規事業への対応、理科教材備品整備に向けての追加措置、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の追加措置、地域活性化・公共投資臨時交付金の内示による予算措置、柏崎駅周辺を中心市街地のにぎわい創出に向けての道路整備と、信越線・越後線をまたぐ南北連絡歩道橋整備に向けての取り組み、仮設住宅撤去後の体育施設整備における追加措置、中越沖地震に関連した道路橋りょう災害復旧工事費及び河川災害復旧工事費の追加、その他当初予算後におけるやむを得ない経費について、総額十三億六〇二万三千円を追加するとともに、普通交付税、地方特例交付金の決定に伴う変更、地方債の補正について追加を行うものです。

補正予算の主な追加は次のとおりです。

- ▼町内会集会所施設建設資金貸付金(北条地区山本町内会) 九〇万円
- ▼交通安全対策事業(六十五歳以上高齢者の運転免許証自主返納支援事業一五〇人分) 一〇七万円
- ▼生活・介護支援サポーター養成事業(高齢者支援) 二〇九万円
- ▼かたくりの里施設整備事業 一、五五〇万円
- ▼高齢者住宅整備事業(春日一丁目) 三、〇〇〇万円
- ▼地域子育て支援サポーター養成モデル事業(比角地区) 四〇万円
- ▼子育て応援特別手当交付金交付事業(二、二五〇人分) 八、一〇〇万円
- ▼新型インフルエンザ対策事業(啓発チラシ) 一〇〇万円
- ▼ごみ減量化・リサイクル対策費(電動生ごみ処理機八〇台分追加) 二四〇万円
- ▼ごみ処理施設・排ガス処理設備修繕費 六、四五〇万円
- ▼たん水防除事業負担金(春日第二地区) 七七〇万円
- ▼SLイベント実行委員会負担金(SL信越線秋の収穫祭号) 十五万円



SL信越線秋の収穫祭号
11月14日・15日開催

- ▼じよんのび村施設整備事業(温泉棟屋根融雪設備他) 一、七〇〇万円
- ▼道路維持補修経費(道路、側溝の補修・舗装補修工事) 五、〇〇〇万円
- ▼道路新設改良豪雪対策事業(市道二〇一五号線藤井地内) 七〇〇万円
- ▼柏崎駅周辺道路整備事業(市道二二三号線錦町地内・市道七一一四号線幸町地内) 六、五〇〇万円
- ▼南北連絡歩道橋整備事業(測量・基本設計委託) 八〇〇万円
- ▼豊かな体験活動推進事業(石地小学校) 一二七万八千円
- ▼理科振興整備費(小学校理科教材備品購入費) 三、〇三一万二千元
- ▼理科振興整備費(中学校理科教材備品購入費) 二、三五六万二千元
- ▼駅前公園テニスコート整備事業 二、〇〇〇万円

- ▼道路橋りょう災害復旧事業(中越沖地震) 四億円
 - ▼河川災害復旧工事(中越沖地震) 一、五〇〇万円
- 九月定例会に次の財産取得案が提出され、これを可決しました。
- ▼化学消防ポンプ自動車一台の購入(金額) 四、五八三万二千五〇〇円(相手方) 船山株
- この化学消防ポンプ自動車は、平成22年8月から消防署西山分遣所に配備されます。

人事案件に同意

九月定例会に次の二件の人事案件が提出され、議会はこれに同意しました。

- 教育委員会委員 山崎 高美氏(再)
- 人権擁護委員候補者 村田 春子氏(再)

九月定例会
審議日程

- 9・2 本会議①議案審議
- 3 公企業決算特別委員会

- 7 本会議②一般質問
- 8 本会議③一般質問
- 9 建設企業常任委員会
- 14 厚生常任委員会
- 15 文教経済常任委員会
- 16 総務常任委員会
- 18 本会議④議案採決

議員発案

九月定例会で議員発案として、一件の決議、二件の意見を可決し、関係機関に送付しました。(一部要約掲載)

〔決議〕

議会は、柏崎市が核兵器廃絶絶平和都市を宣言することを求め、6月18日の定例会最終日に次の決議文を賛成多数で可決し、市長に送付しました。

柏崎市が核兵器廃絶
平和都市を宣言する
ことを求める決議

世界の恒久平和を実現し、豊かな地球を守ることは人類共通の願いです。
自然豊かな、住みよいふるさとをめぐり、輝く確かな未来として、子どもたちへ引き継ぐことは、私たち市民の使命です。



世界は今、核兵器のない地球を目指して共同の歩みを始め、行動を起こしました。過去の戦争によって多大な尊厳を失った世界の歴史を思い起こし、戦争と核兵器の犠牲となった尊厳生命、いまだ傷跡の残る被爆者、戦災で犠牲となった方々の痛みを思い寄せ、私たちは地球上の核兵器の廃絶と平和な世界の実現に向け、決意を新たにします。とりわけ、被爆国である我が国として、また、拉致被害の当事国、自治体としては、北東アジアの核兵器不拡散と廃絶・紛争なき平和地帯の創設を希求し、内外に強く働きかけることは優先的な課題であり、意義深いものがあります。

私たち柏崎市民は、中越沖地震を経験し、ともに支え合うことの大切さを学びました。自分たちの暮らすこの街で、私たちにできることを考え、一人一人が協力し合い、暴力や戦争に訴えず、勇気を持って話し合い、互いを認め合うとき、人々に愛する心と平和な文化が育っていくことを私たちは確信します。

市民の生命、財産、幸福な暮らしを守ることは自治体の義務であり、大きな役割です。

歴史の真実を胸に刻み、惨禍を繰り返さないために、今こそ、思想、信条を超え、行政と市民が主体的に、核兵器廃絶と平和な社会を目指し、命を支え合う地球市民として努力し、ともに行動する、その誓いを世界に示すものとして、私たちは、柏崎市が、核兵器廃絶平和都市を宣言することを求めます。

以上、決議します。

〔意見書〕

地方財政の充実・強化を求める意見書

(要望事項)世界同時不況に

端を発した経済状況は深刻の度を増しており、地域の雇用確保、社会保障の充実など、地域のセーフティネットとしての地方自治体が果たす役割は、ますます重要となっております。

特に地域経済と雇用対策の活性化が求められる中で、介護・福祉施策の充実、農林水産業の振興、クリーンエネルギーの開発など、雇用確保と結びつけ、これらの政策分野の充実・強化が求められています。新政権の公約では、「地域主権を確立して地方財源を大幅に増やす」としてい

ますが、基礎自治体を重視した地方分権改革の推進と財源措置が必要です。

2010年度の地方財政予算全体の規模拡大に向けて、政府に次のとおり対策を求めます。

- 1 医療、福祉分野の人材確保を初めとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2010年度地方財政計画・地方交付税総額の規模を拡大すること。
- 2 地方財源の充実・強化を図るため、国・地方の税収配分5対5を実現する税源移譲、地方消費税の充実、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。
- 3 前政権は地方交付税(地域雇用推進費)、雇用対策関連交付金の措置を実施したが、自治体が引き続き十分な雇用対策を実施できるよう、地方交付税措置など環境整備を行うこと。
- 4 景気対策を通じて拡大する公共事業に対して、地方負担を増加させることのないよう十分な財政措置を講じること。

中山間地域等直接支払制度の継続拡充を求める意見書

(要望事項)

耕作放棄地の増加等により、多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、農業生産等の維持を図りつつ、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から平成12年に創設された平場との生産条件格差の8割を交付する中山間地域等直接支払制度は、第1期が平成16年度に終わり、平成17年度からの第2期も本年度をもって終了することとなっております。



高柳町石黒 花坂の棚田

この間、中山間地域等直接支払制度参加地域では、地域農業の振興、継続できる仕組みづくり、集落営農の推進、不公平感の解消、集落活動の

活性化などを目標として、農業を振興・継続できる活動に取り組んでまいりました。

そのかいあって、農道・水路などの基盤整備は進み、維持管理の労力は大きく軽減され、集落の活動が活発となり、営農組織が結成されるなど耕作放棄地の発生抑止に大きな成果をもたらす、農業関係者のみならず地域の住民に高く評価されております。

しかしながら、中山間地域にあつては、農家の高齢化が急速に進み、劣悪な圃場条件から農業規模の拡大は困難な状況にあり、農家・地域住民の努力だけでは農業の継続・農地の保全には限度があります。

農業の継続・農地の保全、ひいては多面的機能を発揮し続けるには、中山間地域等直接支払制度の継続はもとより、長期的な視点に立ったより取り組みやすい恒久的制度の確立など更なる拡充が必要であります。

柏崎市議会として中山間地域の農業の振興、農地の保全及び多面的機能を確保する観点から、中山間地域等直接支払制度の継続と更なる拡充を切に求めるものであります。



北陸新幹線開業に向けた 今後の対応



霜田 彰 議員

一 二〇一四年問題（北陸新幹線開業）への対応について

二 ごみの有料化後の不法投棄対策について

三 学習指導要領の変更に伴う柏崎市の方針について

二〇一四年に金沢まで北陸新幹線が開業すると、首都圏と北陸方面を結ぶ人の流れが変わり、高崎以北の上越新幹線利用客の減、経済活力の低下が予想され、また、柏崎は陸の孤島になるのではないかと早くから心配されていた。北陸新幹線開業にあわせ、

ミニ新幹線の実現を固守するよりも、実現可能な要求を国、JR に行うべきである。

そこで、乗りかえ時間を短縮するため、長岡駅新幹線下り 11 番線の反対側の未使用ホームを利用したシャトル列車の運行と、あわせて信越線に乗り入れる高架橋の建設を提案する。

また、高崎以北の上越新幹線の本数を減らさないためにも、上越、北陸新幹線の切り放し駅を高崎駅とするよう、国に強く要望すべき。

ミニ新幹線は、知事が会長を務める上越新幹線直行特急早期実現期成同盟会で二十年以上にわたり活動してきたが、構想の域を出ないのが現状であり、到底二〇一四年までに実現することは難しい。

今後の方向性は、同期成同盟会で協議していくが、当面の長岡～柏崎～上越間の利便性の確保に力を入れていく必要があると考えている。

御提案の長岡駅新幹線未使用ホームを利用した在来線との乗り換えのための施設整備には、県の調査によれば、長

岡駅で百～百三十五億、上越駅では四十八～七十億円が必要とされており、財源を含めてどう対応するか。また、構造上、東京方面からの下り新幹線だけの接続となるため、その効果も必ずしも十分とは言えないと考えている。

また、新幹線の高崎駅での切り放しは、一つの手法であると思うが、技術的な面、線路・ホームの容量など判断すべき要素もあり、上越新幹線の運転本数の確保・利便性の充実に主眼に要望をしていきたい。

◎市長

一般質問

市政のここが知りたい 市政にこれを提案したい

（質問の全項目を冒頭に記載、その内容の一部を掲載しました）

水害対策と鯖石川河川改修



砂塚 定広 議員

鯖石川の河川改修からおおよそ五十年が経過しているが、なぜ浸水が繰り返されるのか、原因を調査し、対策を明らかにする必要がある。その対処方針は。

鯖石川の藤井堰と善根堰に魚道を建設する考えは。

◎市長

災害から市民を守る基本的な対策は、河川改修など重点的な施設整備によるハード対策を着実に進めるとともに、水害発生時に安全に避難できるように情報伝達などのソフト対策が重要である。

ソフト対策では、現況下において水害対策を効果的に実施するため、地域の特性をしっかりと把握し、柔軟に対応することが慣用である。町内会やコミセンの会長、地域の防災リーダーとの意見交換など、平常時からの更なる連携強化に努めている。

一 三十年先を見据えた、柏崎の長期ビジョンと政策、ガイドラインの作成及び、地場産業の将来像から見た課題と対策を問う

二 農業・漁業・林業等の第一次産業について

(一) 製造業（電気自動車も含む）・建設業等の第二次産業について

二 災害に強いまちづくりと鯖石川の整備について問う

災害に強いまちづくりについて、特に水害から市民を守るための基本的な考え方と対応策は。

鯖石川の河川改修からおおよそ五十年が経過しているが、なぜ浸水が繰り返されるのか、原因を調査し、対策を明らかにする必要がある。その対処方針は。

鯖石川の藤井堰と善根堰に魚道を建設する考えは。

◎市長

災害から市民を守る基本的な対策は、河川改修など重点的な施設整備によるハード対策を着実に進めるとともに、水害発生時に安全に避難できるように情報伝達などのソフト対策が重要である。

ソフト対策では、現況下において水害対策を効果的に実施するため、地域の特性をしっかりと把握し、柔軟に対応することが慣用である。町内会やコミセンの会長、地域の防災リーダーとの意見交換など、平常時からの更なる連携強化に努めている。

標準小作料撤廃についての対応策は



若井 洋一 議員

一 農地制度の見直しについて

二 野生鳥獣の被害対策について

三 食育推進基本計画について

四 ニューツーリズムについて

農地法の改正により、標準小作料制度が撤廃されることとなった。

従来は、農業委員会が定めた小作料の標準額があることにより、農家が安心して、農業経営、規模拡大ができ、生産組合も農地の集積ができてきた。

標準小作料が撤廃されたことにより、一部の者が農地を集積していくことが十分に考えられ、そのような状況が起ったとき、農家の規模拡大や農業経営を続けることができなくなることも予想される。また、小作料が高騰することも懸念されている。

こうした危険性・不安に対する施策を柏崎市独自にでも行う必要があると考えるが、どうか。

◎市長

改正後の農地法では、標準

小作料制度の廃止に伴い、これに変わるものとして、実勢小作料の情報提供を農業委員会に課している。

また、御指摘の懸念については、関係者も同様に抱いており、衆参両議院の委員会において、新たに設ける実勢借地料の情報提供の仕組みへの円滑な移行を求める附帯決議を行い、さらに参議院の委員会では、企業の農業参入規制が緩和されることなどを踏まえ、農業委員会は、借地料が地域の実勢に照らして極端に高くなるような、必要な監視・指導を行うこと、との決議を行っている。

今後は、農業委員会の審査において、農地の全部有効利用や地域との調和要件の判断から、監視・指導ができることを考えており、これらにより借料の高騰を抑えることができると考えている。

さらに、農業生産法人以外の法人等が借地権を設定しようとする場合、農業委員会から市長への通知が義務づけられており、当市の農業振興地域整備計画や基本構想との整合性を審査し、賃借権についても適正であるかどうか、意見を述べることとした。



原子力発電所を強みとした 経済振興を



三井田 孝欧 議員

- 一 柏崎駅周辺の整備に伴い、柏崎市としても鉄道自体の活性化をより推進すべきと思われるが、市長の考えを問う
- 二 脱石油社会に向けた、我が柏崎市の今後の進むべき方向について、世界のエネルギー情勢を踏まえて、市長に問う
- 三 民謡の宝庫たる柏崎市としての民謡継承について、教育現場での取り組みを問う

環境対策もあり、今、世界は原子力カルネサンスとして、

各国で原子力発電所の新規建設が検討されている。

日本製原発が世界で選択され、明らかに市場が大きくなる見込まれる中、世界最大の原子力発電所であり、かつ、賛成・反対などを含めた住民との議論の中で培ってきた原子力発電技術を、柏崎ブランドとして世界に売り込むべきではないか。原発建設の1%でも、柏崎の工業製品を使ってもらおうよう働きかけるべきである。

また、電気自動車の要となる二次電池についても同様であり、共存共栄してきた柏崎刈羽原子力発電所を強みにした柏崎の経済振興を図るべきと思うが、見解を問う。

◎市長

大変、結構なことだと思いが、問題は原子力発電所の要求にこたえ得る地元の受け皿技術・製品の水準の確保・向上、こういったことが必要である。その点においては、現在も、地元でいろんな御苦労されている企業もあり、御指摘のことについては、異論はない。

各種健康診査 結果の活用と 補助のあり方



野中 栄司 議員



- 一 就学前の乳幼児対策について
- 二 子供を生み、育てやすい社会づくりについて
- 三 各種健康診査のあり方について
- 四 森林環境整備について

健診業務終了後、そのデータは市民一人一人の健康管理に生かすべきである。データをため込むだけでなく、どのように活用するのか。

また、市の指定場所以外で健康診査（人間ドック）等を受診した場合、市の支援もなく、そのデータも市には届かず未受診者扱いとなる。今後、制度の改正を考えているのか、考えを問う。

◎市長

昨年度から、法に基づき、特定健康診査が始まり、保険者に健康診査が義務づけられたことから、市も実施計画を定め、四十歳から七十四歳までの国民健康保険加入者を対象に、特定健診・特定保健指導を実施している。

御指摘のとおり、健診は単にデータを収集することが目的ではなく、健康管理のために行うものである。特定健診の結果から、生活

習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、特定保健指導を実施しており、発症のリスクの程度に応じ、動機づけ支援、積極的支援がある。いずれも、保健師や管理栄養士が個別の面接等を行い、目標を定め、半年後には体重の変化や生活改善の実施状況などを確認し、評価を行うものである。積極的支援レベルの方には、最終評価までの間にも継続的な面接や電話などによるサポートで、指導期間が終了しても自ら継続できるようにアドバイスをしている。

また、市が指定する健診機関以外での特定健診や人間ドックを受診した場合は、受診後の結果を市へ提出していただくことにより特定保健指導が受けられる旨、対象者には案内している。健康管理と受診率の向上のために、ぜひ御利用いただきたい。

なお、その場合の補助については、課題もあるが、検討していきたい。

経済危機対策への基本姿勢、 経済効果と見通し



荒城 彦一 議員

- 一 高柳町・西山町の方向性について
 - (一) 地域協議会の運営と今後のあり方について
 - (二) 各種施設の利活用について
- 二 血の通った市政運営について
 - (一) 公共事業の工事費支払おくれについて
 - (二) 窓口業務への市民の不満について
- 三 経済危機対策に係る予算配分の考え方と執行について

◎市長
六月定例会でも述べたとおり、「交付金を有効活用する事業採択に当たっては、市民生活の安心・安全はもとより、緊急度や、将来にわたって広く市民に恩恵の行き渡る施策など、市民生活に密着した事業を優先するが、一方で将来の財政負担も考慮する必要がある」という基本姿勢に基づいて、議員御提案の活用案についても、十分に検討し、交付金に限らず、対応できる予算化を図っている。また、低迷している経済状

況の中、交付金の活用以外にも景気対策に重点を置いた予算措置をしており、制度融資の充実など、これまでの一連の金融対策が企業経営や地域経済にとって大きな支えとなっていることは事実である。雇用面では、国の雇用政策に加え、市独自の緊急雇用、雇用安定助成金などにより、有効求人倍率の低下に歯どめがかかりつつある。

御指摘のあった経済効果を数値で示すような試算はしていないが、幅広い予算配分により、広く経済波及効果を発揮するものと期待している。

先進の自治体に学んだ 地域産業政策を



片山 康夫 議員

- 一 柏崎の産業振興政策、中小企業政策について
 - (一) 柏崎市の産業政策の方向性について
 - (二) 市と市民・商工業者との双方向のコミュニケーションを通じて政策提言を行う「産業振興会議」の設置について
 - (三) 認定農業者を対象とした「制度融資」の創設
 - (四) 中小企業が「制度融資」を使いやすいように改善すること
 - (五) 柏崎市中小企業振興条例制定の必要性について
- 二 介護保険の新介護認定方式について
 - (一) 新介護認定方式で介護に支障が出ているか
 - ア 要介護から要支援になった事例はあるか
 - イ 在宅サービスでは、ケアマネージャーの事業所を選ぶことができなくなり、担当地区の包括支援センターとの契約になる
 - ウ 紙おむつ支援の対象から除外された事例はあるか
 - エ 要支援では通院等乗降介助の手段は利用できなくなるが、事例はあるか
 - オ 介護ベッドなどのレンタルは、原則として給付対象外とされてしまいが、事例はあるか
 - (二) 介護施設も減収の対象になるが、苦情は出ているか
 - (三) 新認定方式に対し、介護認定審査委員から疑問は出していないか
 - (四) 新介護認定方式はさまざまな問題があり、中止が必要と考えるが、どうか

◎市長
ものづくり活性化センターを整備し、柏崎技術開発振興協会を中心に取り組んできた人材育成や技能伝承など、支援機関と連携し、支援体制づくりを進めている。

また、新たな産業の創出において、低炭素社会に向けた環境産業の育成のほか、国のモデル地域に指定を受け、電気自動車への普及に向けた環境整備や開発が、当市のものであり産業への波及・進展につながることを期待している。

先進自治体の情報収集、状況にあわせた活用など、自覚的に地域産業政策を展開している自治体の教訓に学び、地域産業政策を打ち出す必要があると思うが、見解を伺う。



新こども夢プランの総括とワークライフバランス



飯塚 寿之 議員

- 一 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- 二 第四次行政改革大綱策定に向けた市の基本的姿勢について

国民の結婚や出生に対する希望と実態の乖離を解消すれば、少子化の流れを変えることが可能であり、希望を実現させるための施策の必要性が指摘されている。新かしわざきこども夢プランの施策体系は現世代への支援の充実であり、この点は評価するものの、少子化対策の視点が欠けているのではないかと。これまでの

少子化対策、同プランの総括について、見解を伺う。
また、企業にとっても、生産性、労働意欲の向上、人材確保につながり、労働者や社会にとっても、子どもの健全な育成、出産後の就業継続希望の実現、地域活動への参加など、豊かな社会の実現の基盤となるワークライフバランス(仕事と生活の調和)の取り組みは、少子化の流れを変える抜本対策として必要である。市として、その取り組みの必要性についての認識は。

◎市長

新かしわざきこども夢プランを策定し、前期五年計画として、保育園の地域子育て支援センターの整備、休日保育、延長保育、放課後児童クラブの充実など、子育て支援の充実を図ってきたが、なお少子化対策が大きな課題であると認識している。
昨年に実施したアンケート調査では、核家族化の進行、近所づきあいが希薄になる中、安心して子供を産み育てることへの影響が懸念され、それらに対する支援や対策として、仕事と子育ての両立を望む保護者の意見が多くあり、それらに対する支援は、今後の重要な課題である。
ワークライフバランスについても、どう具体的に組み組むか、方向性は詰めていかなければならないが、後期計画の中で重要な課題の一つと認識している。
保育環境等の整備や経済的支援など、後期計画に向けてさらに充実させていくことが、子供を産み育てやすい環境の推進や、少子化対策に一定の効果をもたらす、そのことがワークライフバランス推進のために行政が果たすべき役割であると認識している。

原子力耐震・構造研究施設の 評価と市のかかわり



持田 繁義 議員

家庭ごみ有料化と今後の課題について
(一) 有料化が始まる。市民の受けとめをどのように評価しているか
(二) 「ごみ減量化」に向けて「もったいない」を醸成することができるか
(三) 生ごみを減量する地域づくりはどのように進めるのか
二 新潟工科大学が設置する、原子力耐震・構造研究施設について
(一) この研究施設の評価について
(二) 柏崎市としての参加、協働が必要と考えるが、どう対応するか
三 地域農業を維持、向上させる方策について
(一) 食料自給率五〇%以上は、当面の最優先課題と思うが、どうか
(二) 「水田フル活用対策」について、当市はどのように具体化されるか
(三) 「中山間地域等直接支払制度」の拡充が求められるが、どう対処するか
(四) 「日米FTA」(自由貿易協定)を阻止する考えはあるか
(五) ミニマム・アクセス米

- 一 家庭ごみ有料化と今後の課題について
- (一) 有料化が始まる。市民の受けとめをどのように評価しているか
- (二) 「ごみ減量化」に向けて「もったいない」を醸成することができるか
- (三) 生ごみを減量する地域づくりはどのように進めるのか
- 二 新潟工科大学が設置する、原子力耐震・構造研究施設について
- (一) この研究施設の評価について
- (二) 柏崎市としての参加、協働が必要と考えるが、どう対応するか
- 三 地域農業を維持、向上させる方策について
- (一) 食料自給率五〇%以上は、当面の最優先課題と思うが、どうか
- (二) 「水田フル活用対策」について、当市はどのように具体化されるか
- (三) 「中山間地域等直接支払制度」の拡充が求められるが、どう対処するか
- (四) 「日米FTA」(自由貿易協定)を阻止する考えはあるか
- (五) ミニマム・アクセス米

中止が必要だが、国への具申はあるか
新潟工科大学が設置する原子力耐震・構造研究施設は、公平・中立な立場での研究、情報公開・情報発信が求められ、それは、柏崎市としてどのような立場と姿勢でかわるのか問われるものである。研究施設の評価について、どのようにとらえているか。
また、市としての参加・協働が必要と考えるが、具体的なかわりについて、どう対応するか。

◎市長

新潟工科大学に研究拠点整備が決定し、あわせて原子力安全基盤機構が柏崎耐震安全センターを設置することは、原子力発電所の耐震安全性の向上につながるものと評価しており、市民の安心感の醸成や地域産業に貢献することを期待している。
また、効果的な連携を図るために設置される原子力耐震安全研究運営委員会に市も参加し、研究成果や情報の共有と発信を行い、それぞれの研究への反映などについても調整を行うこととしている。

貞観園の修復への支援・ 中学校での学習



村田 幸多朗 議員

一 国指定名勝「貞観園」が四年の歳月をかけて「貞観堂」の修復を終え、一般拝観が再開されたことについて

(一) 天下の名勝「貞観園」を目の当たりにして、その文化財としての価値をどのように感じたか。また、現在公開されていない国宝の薬師如来様などの所蔵文化財について、どの程度把握していますか

(二) 今後の修復計画と市の支援について

(三) 国の文化財の修復費用の負担割合を県十分の一を

旧の六分の一に戻すよう働きかけを

(四) 観光資源としても大いに期待しております。大型バスの駐車場の整備には補助はできませんか

(五) 高柳公民館の貞観園見学講座、生涯学習・体育課の庭園見学会を開催されたが、今後、中学生の学習対象にすべきでは

二 中山間地域の農業について

(一) 中山間地域等直接支払制度は、二期十年目を終えようとしているが、その果たした役割をどう評価するか

(二) 柏崎市内には、制度参加要件を満たしながら何らかの事情で参加しないところはありませんか。もし、あるようでしたら、行政の後押しが必要では

(三) 中山間地域等直接支払制度の継続拡充に尽力を

(四) 鳥獣被害の現状とその対策は

市の財政状況も厳しい中ではあるが、国指定文化財名勝「貞観園」の今後の修復事業に対して、応分の負担をすべきではないか。また、貞観園

の見学・講座など、中学生の学習対象としてはどうか。

◎市長

修復には多額の費用と期間を要することから、当面、茶室の修復について、国指定文化財保存整備事業により五年計画で検討を進めており、事業採択されたら、国・県とともに応分の支援をしていきたい。

◎教育長

貞観園の見学・学習は、例えば、校外学習などと組み合わせること、より内容が充実し、意義あるものとなるのではないかと。

新型インフルエンザの 発熱外来の設置は



宮崎 孝司 議員

一 新型インフルエンザ対策について

(一) 対策の基本的考え方と効果的な対処について

(二) 市内の感染状況はどうか。適切な対応として、どの段階ととらえるか

(三) 「発熱外来」設置の必要性と具体化について

二 複合災害対策について

(一) 複合災害対策における「救護」と「防護」の矛盾をどのように乗り越えたか

(二) 「市対策本部」と国中心とする「対策協議会」が設置される中で、指揮命令系統の一元化をどのように図ったか

(三) 通行不能による放射線情報の収集や資材の配備等の困難について

(四) 災害別避難所の具体的な姿について

市の新型インフルエンザ対策行動計画では、発熱外来は、発生期の第二段階（国内発生早期）で状況に応じて設置することとなっているが、その設置要件は。

八月一日から、一般の医療機関でも新型インフルエンザの発熱外来が受診できるようになり、市内の医療機関では、

他の患者と接触しないよう対応するなど、苦勞していると聞いている。発熱外来となる施設には、どのような対策がとられ、開設時間や医師・看護師の確保など、どのような状況なのか。

◎市長

発熱外来は、一般の医療機関で、新型インフルエンザに感染している可能性がある者が受診した場合を考慮し、それ以外の患者との接触を避けること、二次感染を防止するため設置するものであり、第三段階のまん延期に開設することとしている。

新型インフルエンザに関しては、今のところ、発熱外来を設置せず、県内十一カ所の感染症指定医療機関を外来協力医療機関として治療を行ってきたが、御指摘のとおり八月一日から、一般の医療機関でも、電話で確認の上、受診できるように緩和された。

発熱外来の設置場所や、規模、開設時間等は、今後のウイルスの強毒性への変異等に備え、柏崎地域振興局が組織した地域体制整備検討会で検討し、整備を進めていくこととなる。



藤井頭首工の二次改修を



笠原 浩栄 議員

一 二級河川鯖石川、藤井頭首工上流部の二次改修を新潟県に要望することについて

二 市内小・中学校におけるモンスターパーセントの実態について。また、教職員への支援対策について

三 柏崎刈羽原発7号機の破損した燃料棒を内包したままの調整運転を続けた危険性について

現在の鯖石川は、特にカーブには土砂が堆積し、コンクリートブロックはほとんど見えない状況で、ブロックの連

結鉄骨がさび、脱落している箇所も見受けられる。川幅も狭くなり一日二百ミリ降雨には耐えられないのが現状であり、鯖石川流域では、二年続けて農地・住宅に浸水被害をもたらしている。
こういった現状を踏まえ、鯖石川の藤井頭首工上流部の二次改修を新潟県に要望していただきたい。

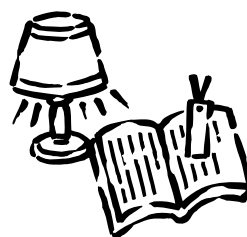
◎市長

鯖石川の藤井頭首工上流部から西之入地区の一次改修は、甚大な浸水被害を受けたことを契機に、昭和三十四年に着工、昭和五十三年に概成し、この間、藤井頭首工は昭和五十二年に完成している。

しかし、近年の異常気象とも言える集中豪雨により、中鯖石・南鯖石地区は浸水被害を受けており、抜本的対策である河川改修を鯖石水系河川整備計画に盛り込むことと、二次改修を新潟県に要望していく。

毎年、県や国への要望を実施しており、今年度、ようやく別山川の吉井合流点までの間が完成する目途がついたことは、要望活動の成果が出たものと考えており、今後も二

次改修に向けて、引き続き、要望活動を続けていく必要があると考えている。



議会改革に関する 特別委員会を設置

本会議最終日に委員会発案され、全会一致で可決された「議会改革に関する特別委員会設置についての決議」により、議会改革に関する特別委員会が設置されました。

委員は次のとおりです。

◎委員長、●副委員長

- ◎真貝 維義 ●矢部 忠夫
- 持田 繁義 中村 明臣
- 砂塚 定広 池田千賀子
- 霜田 彰 遠藤 清
- 吉野 芳章 三井田孝欧

7 月臨時会議決一覧（7 月 21 日）

市長提出議案			
件名	議決状況	議決結果	
平成21年度一般会計補正予算(第4号)	全会一致	原案可決	
平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	
平成21年度ガス事業会計補正予算(第1号)	〃	〃	
平成21年度水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃	
財産の取得について(ロータリ除雪車(汎用プラウ付))	〃	〃	
財産の取得について(ロータリ除雪車(2.2m級))	〃	〃	

8 月臨時会議決一覧（8 月 24 日）

市長提出議案			
件名	議決状況	議決結果	
平成21年度一般会計補正予算(第5号)	全会一致	原案可決	
柏崎市の水道事業に刈羽村の水道事業を統合することに関する基本協定の締結について	〃	〃	
財産の取得について(学校教育用パソコン)	〃	〃	
財産の取得について(学校教育用配信型コンテンツ)	〃	〃	



9 月 定 例 会 議 決 一 覧

市 長 提 出 議 案				
件 名	議決状況	議決結果	賛否状況	
平成21年度一般会計補正予算(第6号)	全会一致	原案可決		
平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃		
平成21年度老人保健特別会計補正予算(第2号)	〃	〃		
平成21年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃		
平成21年度ガス事業会計補正予算(第2号)	〃	〃		
平成21年度水道事業会計補正予算(第2号)	〃	〃		
平成21年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃		
平成21年度農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	〃	〃		
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃		
特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃		
新潟県立こども自然王国管理条例の一部を改正する条例	〃	〃		
へき地診療所設置条例の一部を改正する条例	〃	〃		
基幹水利施設管理条例の一部を改正する条例	〃	〃		
市立図書館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃		
財産の取得について(化学消防ポンプ自動車)	〃	〃		
土地改良事業の計画について	〃	〃		
市道路線の廃止について	〃	〃		
市道路線の認定について	〃	〃		
教育委員会委員の任命について(選第9号)	〃	同 意		
人権擁護委員候補者の推薦について(選第10号)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度ガス事業会計)	〃	認 定		
決算の認定について(平成20年度水道事業会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度工業用水道事業会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度公共下水道事業会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度農業集落排水事業会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度新潟県立こども自然王国管理運営事業特別会計)	〃	継続審査		
決算の認定について(平成20年度一般会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度国民健康保険事業特別会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度老人保健特別会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度後期高齢者医療特別会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度介護保険特別会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度土地取得事業特別会計)	〃	〃		
決算の認定について(平成20年度墓園事業特別会計)	〃	〃		



議員提出議案			
件名	議決状況	議決結果	賛否状況
議会改革に関する特別委員会設置についての決議(案)	全会一致	原案可決	
地方財政の充実・強化を求める意見書(案)	賛成多数	〃	議員賛否一覽へ
中山間地域等直接支払制度の継続拡充を求める意見書(案)	〃	〃	〃
柏崎市が核兵器廃絶平和都市を宣言することを求める決議(案)	〃	〃	〃
柏崎市議会議員定数の削減に関する請願	賛成少数	不採択	〃

※平成 21 年 6 月定例会の議決一覽から、賛否が分かれた議案等について、賛否の状況を掲載しています。

議 会 日 誌

七月

- 2日 議会運営委員会
市議会全員協議会(原
子力安全・保安院の報告)
会派代表者会議
- 6日 茨城県神栖市議員視察
来庁
- 7日 原発立地協議会議長会総
会(東京Ⅱ議長出席)
- 8日 中越沖地震原発調査特
別委員会報告会(東京電力
の報告)
- 8日～9日 三井田議員調査
出張(上越市)
- 9日 埼玉県川口市議員視察
来庁
- 10日 斎木議長研修出張(長
岡市)
- 宮崎議員研修出張(長
岡市)
- 12日～13日 三井田議員調査
出張(東京)
- 13日～14日 柏崎のみらい三
議員調査出張(福井県小浜
市)
- 14日 三重県桑名市議員視察
来庁
- 17日 三鷹市議員視察来庁
臨時議会
- 21日 議会運営委員会
岩手県奥州市議員視察

八月

- 22日 来庁
広島県福山市議員視察
- 24日～26日 宮崎議員・片山
議員研修出張(さいたま市)
- 27日 茨城県常陸太田市議員
視察来庁
- 28日 文教経済常任委員協議
会(経済情勢・雇用経済対
策について)
- 3日 建設企業常任委員会視
察(駅前復興住宅)
- 4日 厚生常任委員会懇談会
(シルバー人材センター)
- 7日 総務常任委員協議会
(新市民会館基本設計
(案)について)
- 14日 議会運営委員会
三井田議員調査出張
(東京)
- 17日 会派代表者会議
議会運営委員会
- 20日 埼玉県越谷市議員視察
来庁
- 21日 中越地区市議会合同議
員研修会(見附市文化ホ
ルほか)
- 三井田議員調査出張
(東京)
- 24日 臨時議会
議会運営委員会
建設企業常任委員協議

九月

- 2日 議会運営委員会
2日～18日 9月定例会
- 3日 議会だより編集委員会
議会安全・保安院の報告)
- 5日～6日 持田議員研修出
張(新潟市)
- 14日 議会運営委員会
三井田議員調査出張
(東京)
- 17日 三井田議員調査出張
(東京)
- 18日 議会運営委員会
- 29日 奈良県三郷町議員視察
来庁
- 30日 議会だより編集委員会
- 27日 新潟県市議会議長会秋
季総会(村上市Ⅱ正副議長
出席)
- 29日～30日 三井田議員調査
出張(新潟市)
- 31日 議員研修会(分権時代
における議会運営について
講演)
- 会(都市計画マスタープラ
ン改定について)





議 員 賛 否 一 覧 (9 月定例会の採決における議案等の賛否の状況)					
議員名	議案等	地方財政の充実・強化を 求める意見書(案)	中山間地域等直接支払制度 の継続拡充を求める意見書(案)	柏崎市が核兵器廃絶平和都市を 宣言することを求める決議(案)	柏崎市議会議員定数の 削減に関する請願
片山 康夫		○	○	○	×
宮崎 孝司		○	○	○	×
持田 繁義		○	○	○	×
中村 明臣		○	○	○	×
入沢 徳明		○	○	○	×
村田 幸多朗		○	○	○	×
砂塚 定広		○	○	○	×
野中 栄司		○	○	○	×
加藤 武男		○	○	○	×
佐藤 敏彦		○	○	○	×
池田 千賀子		○	○	○	×
飯塚 寿之		○	○	○	×
吉川 英二		○	○	○	×
霜田 彰		○	○	○	×
齋木 裕司		—	—	—	—
若井 洋一		○	○	○	×
笠原 浩栄		○	○	○	×
高橋 新一		○	○	○	×
矢部 忠夫		○	○	○	×
遠藤 清		×	×	×	○
本間 厚幸		×	×	×	○
若井 恵子		×	×	×	○
真貝 維義		×	×	×	○
星野 正仁		×	×	×	○
吉野 芳章		×	×	×	○
荒城 彦一		×	×	×	○
三井田 孝欧		×	×	×	○
五十嵐 直樹		×	×	×	○
梅沢 明		欠	欠	欠	欠
丸山 敏彦		×	×	×	○

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 齋木裕司議長は採決に加わりません。
 ※平成 21 年 6 月定例会から賛否が分かれた議案等について、賛否の状況を掲載しています。

市長から決算の認定について（平成 20 年度一般会計・7 特別会計・5 企業会計）が提出され、議会は三つの決算特別委員会を設置して、一般会計と 7 特別会計は継続審査とし、5 企業会計の審査を行いました。

委員は次のとおりです。（◎委員長 ●副委員長）

▼第一部決算特別委員会（一般会計の審査）
 ◎三井田 孝欧 ●星野 正仁
 片山 康夫 中村 明臣
 砂塚 定広 霜田 彰
 笠原 浩栄 真貝 維義
 五十嵐 直樹

▼第二部決算特別委員会（7 特別会計の審査）
 ◎若井 恵子 ●野中 栄司
 持田 繁義 村田 幸多朗
 佐藤 敏彦 若井 洋一
 矢部 忠夫 荒城 彦一
 丸山 敏彦

▼公企業決算特別委員会（5 企業会計の審査）
 ◎吉川 英二 ●加藤 武男
 宮崎 孝司 入沢 徳明
 池田 千賀子 高橋 新一
 本間 厚幸 吉野 芳章
 梅沢 明

9 月 3 日に公企業決算特別委員会を開催し、5 企業会計（ガス・水道・工業用水道・公共下水道・農業集落排水）の審査を行い、18 日の本会議において全会一致で決算を認定しました。



駅前復興公営住宅



居室視察

建設企業常任委員会では、8月3日に中越沖地震の被災者支援のため、駅前二丁目に建設された駅前復興公営住宅を視察し、市担当職員から説明を受けました。

駅前復興公営住宅を視察



原子力安全・保安院の報告

議会では、7月2日に全員協議会を開催し、経済産業省原子力安全・保安院から「柏崎刈羽原子力発電所7号機及びその他の号機の安全確認の状況について」の報告を受けた後、質疑を行いました。また、9月2日には、同じく経済産業省原子力安全・保安院から「柏崎刈羽原子力発電所の6・7号機の安全確認の状況について」の報告を受けた後、質疑を行いました。

全員協議会を開催

【訂正とお詫び】
市議会だより(第一三三七号)議員寄稿(15ページ)二段目中、議員内閣制は、議院内閣制の誤りでした。



議員研修会

議会では、「議会のあり方」について検討を進めています。その一環として8月31日に研修会を開催しました。全国市議会議長会法制主幹の水出豊氏から「分権時代における議会運営」について講演をいただきました。この後も、議会の活性化に向け、引き続き検討を続けていきます。

議員研修会を開催

議会をもっと身近に 議会を傍聴しませんか

議員の活動を見てみましょう
市の方針を聞いてみましょう

市議会本会議
インターネット中継(生中継・録画)
柏崎市議会ホームページから
ご覧ください

次の定例会は12月に開かれます
本会議と常任委員会が傍聴できます
傍聴の手続きは簡単ですので、お気軽
にお越しください

12月定例会日程(予定)

12月	7日(月)	本会議(説明・質疑・付託)
	8日(火)	本会議予備日
	9日(水)	本会議(一般質問)
	10日(木)	本会議(一般質問)
	11日(金)	常任委員会
	14日(月)	同上
	15日(火)	同上
	16日(水)	同上
	18日(金)	本会議(委員長報告・採決)
開会時間	午前10時	
場所	本会議場	議場(5階)
	委員会	大会議室(4階)

HVにEV
エコカー時代到来!?

議員 真貝 維義

いまハイブリッド車（HV）の大人気でいよいよ本格的な電気自動車（EV）時代の幕開けが見えてきた感がする。柏崎市もEV・pHV普及モデル地域に指定を受けているが、この大きな流れは自動車メーカー、部品メーカー、素材メーカーなども巻き込んで自動車産業の構造そのものを一変させると言われている。

極端な言い方だがEVは部品点数が少なくエンジンの変わりに高性能のバッテリーと駆動用のモーターさえ調達できれば、ガソリン車やHVほど複雑な知識は要しないので製作できる。ご存知だろうか世界で最初に家庭用コンセントで充電できるpHVを発売したのは、トヨタでもホンダでもない中国の新興自動車メーカーBYDオートだ。2008年12月に発売開始をし、現在タクシー会社に数十台リースしており、一般向けはpHVはバッテリーをリチウムイオン電池よりも安価なリチウム酸鉄電池にして車両価格15万

円、日本円で約205万円以下に抑えて本年販売するとの事である。このBYD社はもとも携帯電話のバッテリーでは世界一の売り上げを誇る企業で、2003年に自動車市場に参入した会社である。

また、中国はEVやHVのモーターやバッテリーに不可欠なレアメタルを多く保有しており、EVやHVなどの生産でも中国が世界の工場になる日が来るのだろうか。HVからpHV、そしてEVとの流れに急速充電器のインフラ整備等の実証実験が進んでいるが、自動車部品メーカーにも大きな変革の波が押し寄せ、EV化の流れに取り残されないうような対策を打っていると聞く。

柏崎はピストンリングの町である。今の車社会を支えてきたといっても過言ではないと思っっている。EV化の流れの中で、長距離・大量輸送はHV、タウンユースはEVというように、その目的でHVとEVの住み分けが出来てくるのではないかと予想する。

私もEVを運転したが、エンジン音が無く無音で加速するEV車は、別の乗物の様に感じた。まだまだエンジン車

ならでの車の使用目的や楽しみがあるのではないか。

「EVとガソリン車の違いは蒸気機関車と新幹線だね。」友人の国際レーサー堀郁夫氏の言であるが、若者のクルマ離れが報じられている昨今、若者が興味を持つクルマが少ないのかもしれない・・・

EV対HV市場を制するのは果たしてどちらか・・・

議員寄稿

きのこ

議員 梅沢 明

夏も終り秋の気配を感じる頃になると、「今年のきのこの出具合はどうですか？」稲刈りが始まる頃は「行ってきましたか?」「出ていましたか?」と大勢の皆さんから声をかけられる。

又、毎年秋になると柏崎日報社の大先輩Oさんが取材に来られたものです。Oさんも

こよなく山を愛し、名山はもとより周辺の山にも足を踏み入れておられました。

そんな山好き同志がきのこの談議に花が咲き、毎年秋になるときのこの談議が記事になり、年ごとにきのこの取り名人、梅沢となり、又そこで今でも時季が来ると前述の通りの問いかけがある訳です。

子供の頃からきのこの出る裏山は格好の遊び場でした。ここにはコウタケ、サマツ、ここはネズミタケ、マツタケと言った具合。コウタケ、サマツは早ければ九月二十日頃には走りが出始め、マツタケは九月下旬頃から、そして珊瑚礁の様なきれいなネズミタケはマツタケ周辺に必ず出る。

そこでマツタケ談議をすると、マツタケは私の経験から金木犀がそばみから咲きそろうい、その花が落下する時がマツタケの最盛期、マツタケの出る時季は結構長く、私のマツタケ取り最後は十一月三日と決めてあり、十一月三日に素晴らしい大物を採取したこともありませう。

よくマツタケはどういう所に出るんですか?と聞かれます。まずは赤松、専ら女松

であること。若松、老松は無理、即ち美しい女性松と言う事になります。土は勿論赤土です。どうやって取るんですか?とも聞かれます。私は永年の経験で朝六時半頃から取り始めます。何よりも大切なことは前年に取れた場所を必ず覚えておくことです。間違いないその周辺、数十センチの範囲の所に出ます。暗くても取れると言うのは、そういうことです。あと何日で地上に頭を出すか、手さぐりで分かります。山に入って帰る迄、一時間半位、顔は一回たりとも上げません。

思い出もたくさんあります。Yさんと一緒にした時、何としてもマツタケを一本見つけたいと言っていました。帰り際に「あつた!あつた!」と大声をあげ興奮した事もよく覚えています。

もう一人、中越沖地震で亡くなられた猪俣先生はとても山好きでよく一緒に山登りましたが、先生はまれに見る上手な方でした。このような思い出や楽しみがあった山も今ももう荒れ放題、とてもきのこの出る状態ではありません。いつの日か、山がきれいになることを夢見ています。



委員会審査から

総務常任委員会

総合企画部、財務部、市民生活部及び消防本部関係の案件を審査しました。

審査の中では、高齢者の運転免許証自主返納支援の状況、生ごみ減量機器購入補助金の状況、新型インフルエンザ対策と関係機関との連携について、じよんのび村施設改修工事負担金の趣旨と歳入科目について、緊急経済・雇用対策事業の経済波及効果の評価などについて、質疑や意見がありました。



総務常任委員会

文教経済常任委員会

産業振興部及び教育委員会関係の案件を審査しました。

審査の中では、農地有効利用支援整備事業の見込みと効果、漁港海岸漂流物回収の実施方法と基金事業終了後の事業展開、自然休養村・いっぷく茶屋の利用の現状、道の駅の機能を含め観光貢献、観光ガイドの幅広い活用、理科教材の支出科目の変更理由と今後の管理、その効果と今後の整備の必要性、小学校の閉校に伴う経費、スクールバスの修繕費、坂田遺跡発掘の作業概要とその価値などについて、質疑や意見がありました。



厚生常任委員会

厚生常任委員会

福祉保健部関係の案件を審査しました。

審査の中では、自立支援給付費の増額補正の理由と同制度利用者への周知の方法、セーフティネット住宅手当の制度内容と現在の状況と見込み、障害者福祉関連手当と生活保護費の還付金が多い理由、生活・介護支援サポーター養成事業及び地域子育て支援サポーター養成モデル事業の内容と現在の状況、かたくりの里スプリンクラー設置と他の福祉施設の状況などについて、質疑や意見がありました。



文教経済常任委員会

建設企業常任委員会

都市整備部及びガス水道局関係の案件の審査を行い、二件の報告を受けました。

審査の中では、道路側溝の補修状況、柏崎駅周辺道路整備事業及び南北連絡歩道橋整備事業の内容、市道路線の廃止及び認定などについて、質疑や意見がありました。

その後、柏崎市都市計画マスタープランの改定について、柏崎地区と高柳地区及び西山地区の水道料金の統一について報告がありました。



建設企業常任委員会

編集後記

お盆を過ぎると風が変わると云われていますが、確かに頬を撫でる風は涼しくなった実感を覚える昨今となりました。

さて、市民の皆様にお知らせします。当委員会では、市民の皆様により解り易い紙面にと云う協議の中で、一人の委員から採決における議案等の賛否の状況を議員一人ひとりの賛否の一覧表で明記してはどうか、との意見があり編集委員会で協議をした結果、第一三七号(前号)より掲載をいたしました。頁数の制限もあり文字が小さくなりますがご理解を賜りたいと存じます。そして我がまち柏崎市のさらなる未来のために、みんなで力を合わせて頑張りましょう。

(吉川 英二)

議会だより編集委員会

- 委員長 吉川英二
- 副委員長 佐藤敏彦
- 委員 片山康夫 入沢徳明
- 村田幸多朗 星野正仁
- 若井洋一 遠藤 清
- 若井恵子 三井田孝欧

この議会だよりは古紙配合率100%、白色度70%の用紙を使用しています。